



洗濯物の確認

(対象:ドラム式洗濯乾燥機 洗濯容量10kg以上)

洗濯・乾燥できないもの

× 洗濯も乾燥もできないもの

右の取扱い表示が付いているもの、また取扱い表示・組成表示がないものや、以下のものは洗濯・乾燥できません。

-  水洗いはできない
-  石油系の溶剤でドライクリーニングできる

- 芯地が多く、形くずれしやすいもの



- 例 ネクタイ・ブレザー・ジャケット・コート・スーツなど

- 皮革製品・皮革装飾をほどこしたもの



- 毛倒れを起こす起毛製品

- 例 ベルベット・別珍など

- 色落ちしやすいもの

- 和服、和装小物など

- 著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材

- 例 レーヨン・キュプラ・絹および混紡品など

- 表面の凹凸などが消えやすいもの

- 例 防シワ加工品・エンボス加工品など

- 形くずれや表面変化を起こすおそれのある生地

- 例 強撚糸使用の生地・ジョーゼット・クレープ・ちりめんなど

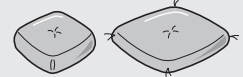
- ウレタン(スポンジ類)の入ったもの

- 防水性のもの



- カーペット・水を通さないカーペットカバーやマット類(裏にゴムなどが付いているもの)

- 座ぶとん・クッション・枕など







- 固い芯材が入ったもの

- 例 固い芯材が入った洗濯ネット・ツバのある帽子など



× 乾燥できないもの

右の取扱い表示が付いているもの、また以下のものは乾燥できません。

-  ドライクリーニングできる
-  タンブラー乾燥はおさげてください
-  つり干しがよい
-  日陰の平干しがよい

- 油や溶剤が付着したもの

- 例 食用油・動植物系油・機械油・灯油・ガソリン・美容オイル(ボディオイル・エステ系のオイルなど)・軟膏・ベンジン・シンナー・アルコール・ドライクリーニング油など



【油の酸化熱による自然発火や引火の原因】

- 発泡ウレタン(スポンジ類)、ポリプロピレン繊維、樹脂(セルロース系)、手芸用ボンドなどを使ったもの

【油の酸化熱による自然発火や引火の原因】

- ペットの毛がついたもの

【乾燥経路に毛が溜まり、故障の原因】

- 皮革製のパッチの付いたジーンズなど(パッチ部分が熱で傷むことがあります)

- 装飾品を使用したもの(衣類が傷むことがあります)

- のりづけしたもの(槽内がのりで汚れることがあります)

- プリントの付いたものは熱で傷むことがあります。

洗濯物の準備

お洗濯の前に

CHECK 洗濯物を確認

✓ 衣類の取扱表示

例



✓ しみや部分汚れはあらかじめ処理

繊維の種類やしみの内容に応じた方法で。

✓ 「洗濯・乾燥できないもの」が洗濯物の中
にないことを確認

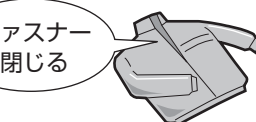
✓ 初めて洗うものは、色落ちや色移りを確認
色落ちしやすいものは、
分けて洗う。



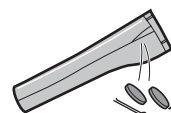
本体や衣類の傷付きを防ぐために

- 砂や泥、ペットの毛などはあらかじめ落とす。
- ひもは結び、ファスナーは閉じる。金属製のボタンや装飾品の付いたものは、裏返しにするかネットに入れる。
- 毛玉や糸くず、毛羽立ちが気になる衣類は、裏返しにする。
- 硬貨・ヘアピン・カーテン金具などの金属片などは、必ず取り除く。
- 綿の衣類やタオルばかりを入れるとドラム内に衣類がはりつきやすくなるため、化繊の衣類といっしょに洗う。

ファスナー
を閉じる



金属片などを
取り除く



● 以下の衣類は、種類別に分けて洗濯ネットに入れる。

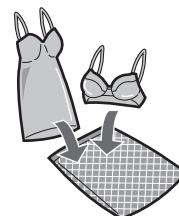
デリケートな衣類・小物(靴下やハンカチなど)・軽やかさばる衣類(フリース素材など)

【運転中に衣類が飛び出して、衣類や製品を傷める原因】

- 入れる量は少なめに。ひとつの洗濯ネットにまとめて入れず、他のネットに小分けする。

【洗い・すすぎ・脱水性能の低下や、脱水中の衣類の片寄り、飛び出しの原因】

固い芯材が入った洗濯ネットは、破れたときに芯材で衣類を傷めるおそれがあるため、市販のドラム式専用洗濯ネットのご使用をおすすめします。



● 吸水すると重くなる衣類(ジーンズやトレーナーなど)は1枚だけで洗わず、 他の衣類といっしょに洗う。【脱水中に衣類が片寄り、振動や異音の原因】

- バスタオルなど1~3枚をいっしょに入れると片寄りにくくなります。

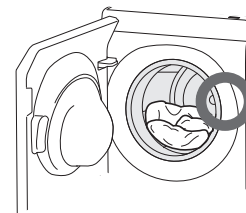
● 洗濯物は balanサーより奥に入れる。

【ドアとドアパッキンの間に洗濯物がはさまって、衣類の破れ、ドアパッキンが破損して水漏れの原因】

- 特に軽い衣類は運転中にドア側へ移動しやすいため、ドラムの奥に入れる。



balanサー(グレー)



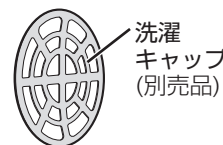
洗濯物はドラムの中に入れる
(balanサー(グレー)まで、はみ出さない)

● 次のような洗濯物には必ず別売の洗濯キャップを使う。

- 水を吸っても変形しないゴワゴワしたものの。(柔道着など)
- 通常のお洗濯でも、洗濯量が多く、balanサー(グレー)からはみ出しそうなとき。

以下の場合も、別売の洗濯キャップのご使用をおすすめします。

- カーテンやシーツなどが balanサーからはみ出しそうなとき。
- 少量の洗濯物でも化繊衣類の割合が多く、balanサーからはみ出しそうなとき。
- 「洗濯可」と表示のある学生服の上着。



洗濯
キャップ
(別売品)

別売の洗濯キャップを使わなかったり、正しく使用せずに洗濯物や本体、洗濯キャップが傷んだ場合、保証の対象外になります。



注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために

洗濯物・本体・周囲の壁などの損壊を防ぐために



- 防水性の衣類やシートは洗濯・脱水・乾燥しない

- レインコート・サウナスーツ・ウインドブレーカー・スキーウェア・
ダウンジャケット・理美容用クロス・オムツカバー・自転車、自動車などのカバー・
寝袋・防水シート・防水エプロン など



(水が抜けないため脱水中に異常振動を起こし、本体の転倒・損傷でけがをしたり、衣類や床・壁などの損壊、水漏れ被害などの原因)

- カーペット・水を通さないカーペットカバーやマット類(裏にゴムなどが付いているものは、洗濯・脱水・乾燥しない)

- 毛布洗いネットを使用しない

(脱水中に異常振動を起こし、周囲の壁などの損壊やけがの原因)

- 用途外には、使用しない

洗濯機本来の用途以外のものを洗ったり、脱水、乾燥しない。
(異常振動を起こし本体損壊やけがの原因)

※衣類の取扱い表示をご確認ください。

※異常振動が起こった場合、安全装置がはたらきますが、槽が高速で回転しているときはすぐに止まりませんのでご注意ください。